

橋下氏暴言 党ぐるみで擁護



石原慎太郎・共同代表「軍と売春はつきもので、歴史の原理みたいなもの」「橋下氏は基本的に間違ったことは言っていない」

「軍と売春はつきもの」



松井一郎・幹事長(大阪府知事)「現実には(慰安婦制度が)あったということは、必要とされていた(ということ)」

必要とされていた

「(慰安婦制度は)

問題視しない

「(党としては)

松野頼久・国会議員団幹事長「(橋下氏の)個人的発言」「(党としては)問題視しない」

維新見解で明らかに 安倍・橋下氏は連動

維新の会は橋下発言について見解を発表。「韓国女性を強制連行し、性的奴隷にした」というのは国際社会の誤解とし、「誤解を解くことは政府の責務」「(橋下)発言は、政府

の見解を踏襲したもの」とのべています。「政府の見解」とは第一次安倍内閣が出したもので、暴言の背景になっています。安倍・橋下発言は連動していることを示しています。

兵士のためのレイプ施設 日本とナチス・ドイツだけ

橋下氏は「慰安婦」制度について「世界各国でやっていた」と言いますが、学者は次のように指摘しています。

「『慰安婦』制度は各国にあったと言っていますが、第2次世界大戦中に軍や政府が公的方針のも

とに、兵士のためのレイプの施設をつくったのは大日本帝国とナチス・ドイツだけです。世界史は20世紀前半から、すでに売買春をなくす取り組みを進めていました」(神戸女学院大学・石川康宏教授 「しんぶん赤旗」15日付より)

首相の「村山談話」発言

植民地支配と侵略 明白に認めよ

志位委員長が記者会見



5月16日(国会内)

日本共産党の志位和夫委員長は記者会見で、一部メディアが“安倍首相が「村山談話」(1995年、植民地支配と侵略を謝罪) 継承へ転換”など

と報じていることについて、首相の態度には「二つの重大問題がある」と指摘しました。

問題① 「侵略の定義は定まっていない」という発言を取り消していない

問題② 「村山談話」の核心である「国策を誤り」「植民地支配と侵略」を行ったという部分を引き継ぐとは、かたくなに言わない

首相が「未来志向」の名で「村山談話」の核心部分をそぎ落とし、新たな見解を考えていることは明らかです。日本が国際社会で生きて行くためにも、植民地支配と侵略を明白に認めるべきです。

日本共産党